

台風シーズンを前に自治体や防災関係機関とともに実践しながら の訓練を実施します。

○水防機関の密接な連携と水防技術の向上、並びに水防意識の高揚を図るとともに、水防に対する地域住民の理解と協力を深めることを目的に実施します。

日時：平成27年6月20日(土)
(演習時間)9:00～12:15

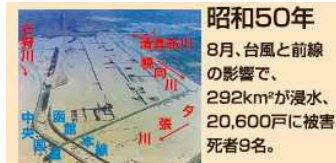
場所：夕張郡長沼町北長沼水郷公園地先
(夕張川長栗大橋上流左岸)

主催：長沼町／夕張市／岩見沢市／江別市／千歳市／
恵庭市／北広島市／南幌町／由仁町／栗山町／
北海道／北海道開発局 (順不同)

◆演習会場



◆既往洪水



昭和50年
8月、台風と前線の
影響で、
292km²が浸水、
20,600戸に被害。
死者9名。



昭和56年
8月、低気圧、前線、
台風の影響で、
614km²が浸水、
22,500戸に被害。
死者2名。



横向川右岸市街地浸水状況

洪水

- ▶ 苫小牧市南南西の太平洋上の大型の台風の接近に伴う石狩・空知地方を中心とした記録的な豪雨によりはん濫危険水位を超過
- ▶ 夕張川で堤防洗掘・漏水の発生に加え、堤防からの越水による浸水被害が発生



【積み土のうエの実演】

訓練概要

- 水防団・消防団による水防活動(積み土のうエ、シート張り工など)
- 河川協力団体による住宅浸水防止活動(積み土のうエ)
- 自衛隊(ヘリコプター)による救援物資輸送、長沼町による物資受入れ
- TEC-FORCEによる内水排除(ポンプ排水)
- 赤十字奉仕団による避難住民への応急給食
- 道警(ヘリコプター)による孤立者救助 等

～今回の演習の特徴～

- ▶ 近年頻発する集中豪雨や土砂災害を踏まえ、**集中豪雨による土砂崩れの発生を新たに想定した訓練を実施します。**
- ▶ **緊急速報エリアメールによる避難勧告メールの配信(訓練)**や、**展示ブース、体験コーナーの充実**を図るなど、見学者が参加できる演習となっています。

土砂災害

- ▶ 記録的な豪雨により、山間部で土砂崩落が発生
- ▶ 流出した土砂による家屋の倒壊、走行中の車両の埋没、道路橋流出等の被害が発生



【分解組立バックホウ】

訓練概要

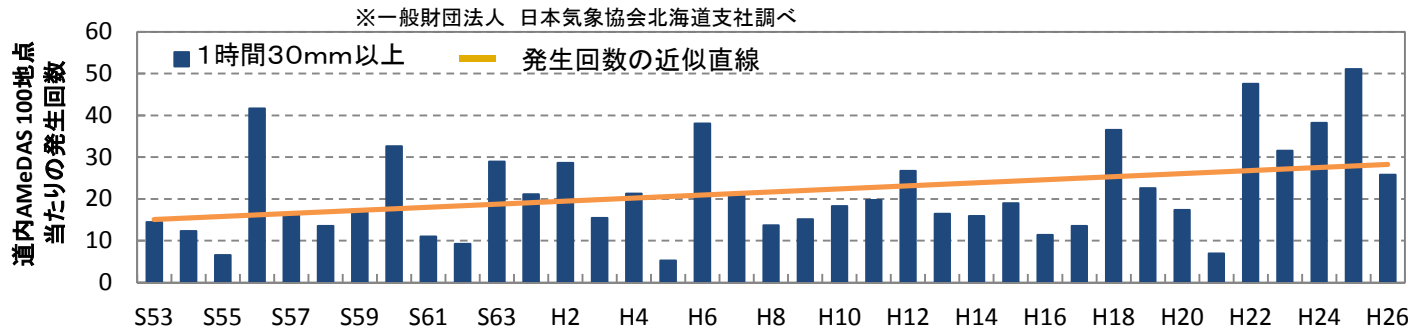
- 道路管理者及び警察による土砂崩落発生箇所での国道通行止め
- TEC-FORCE及び建設コンサルタンツ協会による被害状況調査
- 分解組立バックホウ(無人機械)による土砂崩落箇所の土砂撤去
- 自衛隊による橋梁流出箇所への仮設橋設置
- 道路管理者・建設業協会による通行不能箇所の道路啓開
- 道警による倒壊家屋救助及び赤十字病院による負傷者応急救護
- 消防による土砂崩落に伴う埋没車両救助
- ドクターヘリによる埋没車両からの重傷者緊急搬送 等

大雨に伴う災害に注意を！！～北海道の近年の降雨傾向～

近年、北海道でも短時間に強い雨が降る事例が増加しています。

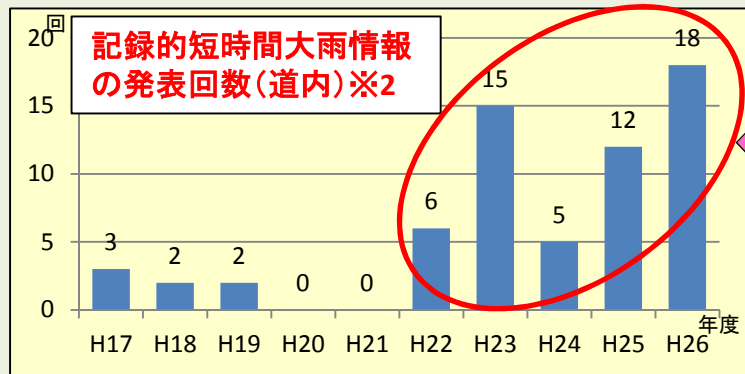
- 近年、時間30mm以上の降雨の発生回数が増加傾向にあります。
 - 平成26年度は北海道内の18地点で24時間降水量の観測史上1位の記録を更新。
 - 平成26年度は北海道内で記録的短時間大雨情報が18回発表。
- (これは過去10力年で最多。平成26年度において、北海道は全国※1の中でも一番多い回数でした。)

■道内アメダス100地点当たりの時間当たり30mm以上の降雨発生回数 ※1:北海道開発局、全国の地方整備局、沖縄総合事務局の各管内での発生回数の比較



記録的短時間大雨情報

その地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために発表(数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨)



近年5力年で急増

※2:H22年、H24年に全国で発表基準雨量が引き上げされた

全国でも49地点で記録更新

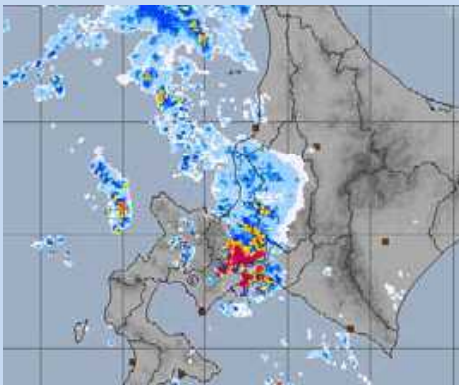
全国で24時間降水量の観測史上1位を更新した地点 (H26年度)
※24時間降水量の極値・順位統計をもつアメダス1181地点中

大雨によって引き起こされる災害は、土砂災害や洪水等があり、全国でたびたび被害が発生しています。

◆平成26年9月11日、道央を襲った豪雨

※支笏湖畔(千歳市)において280 mm/24h(観測史上1位)

- ・北海道で初めて大雨特別警報(石狩、空知、胆振)が発表
- ・全道で92万人に避難勧告が発令



気象レーダー画像(9月11日6時)



豪雨により土砂に埋め尽くされた国道453号(恵庭市)

◆土砂災害の事例



H26年8月 広島市土砂災害(国土交通省中国地方整備局HPより)～広島市三入では、3時間降水量217.5ミリ(8月の観測史上1位)など



H26年8月 豪雨により礼文島内で土砂災害が多発(開発局防災へり「ほっかい」より)～礼文島礼文では24時間降水量183.0mm(観測史上1位)など

◆洪水の事例

H26年8月
道北を中心とした
大雨による冠水状況
(名寄市中名寄地区)
～名寄市で24時間降水量
153.5mm(観測史上1位)
など



これからの大雨・台風シーズンを迎えるにあたり注意いただきたい点

・いのちを守ることを最優先に！

◆日頃からの準備

・ハザードマップの確認（市町村で入手できます）

→自宅がどれくらい浸水するのか、**避難所の場所**などを確認しましょう

→**避難所までの経路**を実際に歩いて確認しましょう

・非常持ち出し品の準備

→避難する時の荷物は、必要なもの（飲料水、非常食、常備薬、ラジオ、懐中電灯、電池など）を持ち出せるように**事前に準備**しておきましょう

・防災の基礎知識を得る

→北海道のHP「**ほっかいどうの防災教育**」などを見て、日頃準備しておく事や災害時の行動などを学びましょう

→市町村のパンフレットやハザードマップなどにも防災に役立つ情報が記載されています

→その他、開発局等の「**出前講座**」では、防災への取り組みなどの講演も行っています



「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>



北海道開発局 出前講座

<http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/demae/demae.html>

これからの大雨・台風シーズンを迎えるにあたり注意いただきたい点

・いのちを守ることを最優先に！

◆災害時の行動

・避難に必要な情報を得る

①自治体からの避難勧告などの情報入手

→ 「**避難準備情報**」「**避難勧告**」「**避難指示**」などは、防災無線、自治体や消防の広報車、自治会や町内会の連絡網等で伝達されますので注意してください

②自らの情報入手

→ 「**気象情報**」「**災害情報**」や**避難に関する情報**などは、テレビ、ラジオ、インターネットなどからでも自ら入手できます

→ 気象台の発表する「**数年に一度**」「**身を守る行動を**」など**注意喚起**も避難に役立ててください

・避難する時に注意する点

→なるべく**早め**に、**明るいうち**に避難しましょう

→ **2人以上**で動きやすい服装で移動しましょう

→ 水の下で**見えないマンホール**や**排水溝**に注意して移動しましょう

・避難所までの移動が危険な場合（夜間など）

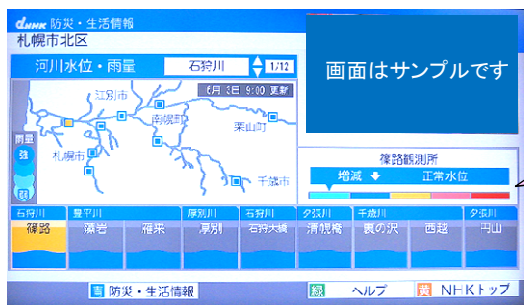
→ 自宅の**2階**、付近の丈夫な建物などの**高い場所に避難**することも有効です

大雨に伴う災害に注意を！！～災害時に役立つ情報～

**避難に役立つ情報を自ら入手する手段として、以下の例があります。
積極的に情報を入力して、危険を感じたら早めに避難行動をとって下さい。**

テレビ、ラジオの放送

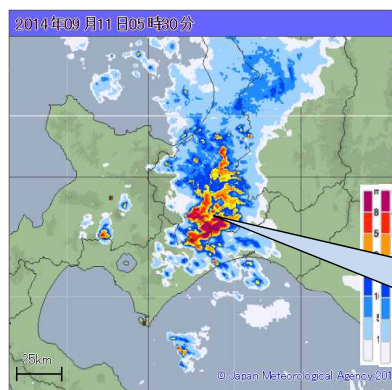
気象情報・避難情報の他、NHKデータ放送では各地域の河川の水位・雨量情報などを提供しています。



NHK札幌放送局 提供

テレビのリモコンのDボタンを押して、TOPメニューにある「河川水位・雨量」を選択します。

気象庁のホームページ <http://www.jma.go.jp/>



天気予報、台風情報、気象警報や地震・津波・火山情報などを提供しています。

高解像度降水ナウキャスト

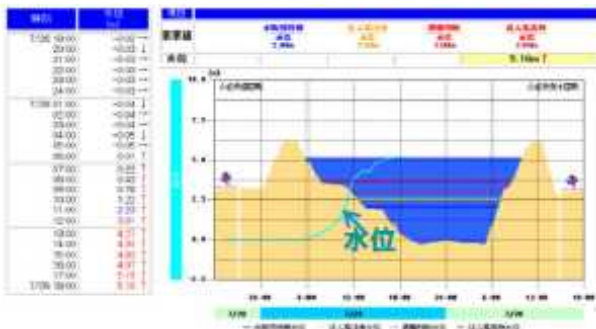
刻々と近づいてくる強い雨雲の様子と1時間先までの雨雲の予想がわかる

国土交通省「川の防災情報」

<http://www.river.go.jp/>



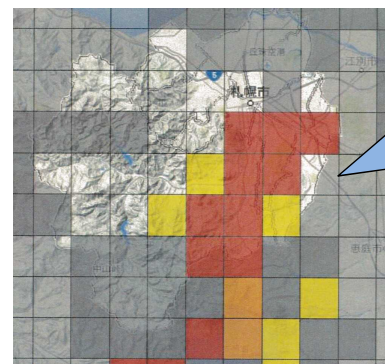
携帯サイト
QRコード



レーダー雨量、川の水位情報、ダム情報などを提供しています。

北海道土砂災害警戒情報システム

<http://www.niwa.jp/hokkaido-sabou/>



危険度の市町村マップの例

土砂災害警戒情報の発表状況やお住まいの地域の土砂災害の危険度などを提供しています。



携帯サイト
QRコード

安全な地域づくりに不可欠なハード対策も着実に進め、 被害を軽減します。



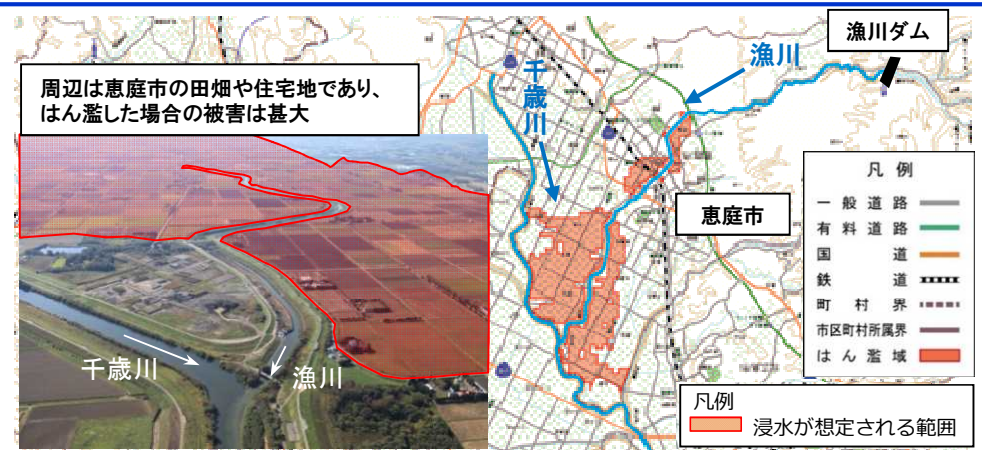
【治水効果の事例】平成26年9月の出水では、漁川ダムにより、洪水被害を大幅に軽減しました。

■ 漁川ダムの洪水調節

- ・平成26年9月の出水では、漁川ダムが、ダムへ流れ込んだ洪水を貯め込み、ダムから流れ出る洪水を抑えました。
- ・ダムが無かった場合、ダム下流の恵庭市で洪水氾濫し、

約9,900戸の浸水、約300億円

もの被害が発生した可能性があります。



【ハード対策の事例】平成27年度より夕張スーパーパロダムと舞鶴遊水地の供用を開始しました。

■ 夕張スーパーパロダム

平成27年度より供用となり、夕張市、札幌市など6市5町1村の洪水被害を軽減します。



■ 舞鶴遊水地（千歳川遊水地群）

舞鶴遊水地は、工事中から浸水被害軽減に効果を発揮して参りましたが、平成27年度より遊水地群で最初の供用となり、安全な地域づくりに貢献します。

